

## 【三宅村】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末の利活用を始めようとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

小中学校学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～を踏まえ、1人1台端末および高速大容量の通信ネットワーク等通じて、ICT活用による多様な子供たちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と、子供たちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実を推進するとともに、情報活用能力の育成を目指します。

#### 2. GIGA第1期の総括

国のGIGAスクール構想に基づき、児童生徒1人1台端末、オンライン環境、各教室の大型モニタ等の整備を一体的に進めることで、ICT化の活用を推進してきました。しかしながら、GIGAスクール構想以前より学校内においてアクセスポイントを整備したこともあり、導入してから年数の経過に伴い、ネットワーク環境の低下が目立つようになりました。そのため、令和6年度に学校内のアクセスポイントを全て更新し、通信環境の改善を図ることで、児童生徒の学習意欲や学習環境の向上に繋がりました。

新たな課題として、学校間や教職員間におけるICT活用状況に差が生じていること、機器の操作や活用する学習用コンテンツの整理など、教職員がスムーズに活用できるようにするための支援体制の不足、双方向で協働的な授業を行なうため電子黒板の必要性などの課題が明らかになりました。

これらの反省を踏まえ、ICT支援員の活用や研修、電子黒板の整備を行うことで、改善に努めていきます。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

1人1台端末の整備・活用において、以下の取組により個別最適な学びの実現を目指していきます。

##### (1) 1人1台端末の積極的活用

家庭学習の習慣化を図るため、家庭学習における1人1台端末の活用を促進します。また、AIドリル、タイピング練習等アプリの活用を促進し、学校内外での活用を充実します。

##### (2) 主体的・対話的な学びの充実

学習支援ソフト、授業支援ソフト、デジタル教科書等を積極的に活用し、児童生徒一人一人の理解度や学習ペースに合わせた個別最適な学びを実現します。それらを踏まえて、児童生徒が「自分で調べる」「自分で考えをまとめ、発表・表現する」「教職員とやりとりする」「相互共有する」という場面に応じた取組を実施します。

##### (3) 学びの保障

全国的に不登校や障害のある児童生徒など、特別な支援を必要とする児童生徒等に対して、それぞれの実態に応じた支援を実施し、1人1台端末を活用した学習機会の提供を継続・充実させます。